広島市植物公園
見どころ案内

2021年4月24日
通巻第501号

展示会のご案内

◇展示資料館（4/3～5/5）
ボタニカルアート作品展
◇展示温室
エビネ展（4/24～4/27）
春の洋ラン展（4/29～5/6）
◇屋外展示場
春の山野草展（4/24～4/29）

フジ、ヒラドツツジやハナミズキが見頃の季節になりました

エビネ（ラン科）
日本に自生する野生ランで、かつては林間などで普通に見られましたが過去のブームによって数を減らし、現在は環境省の準絶滅危惧(NT)に選定(掲載)されています。

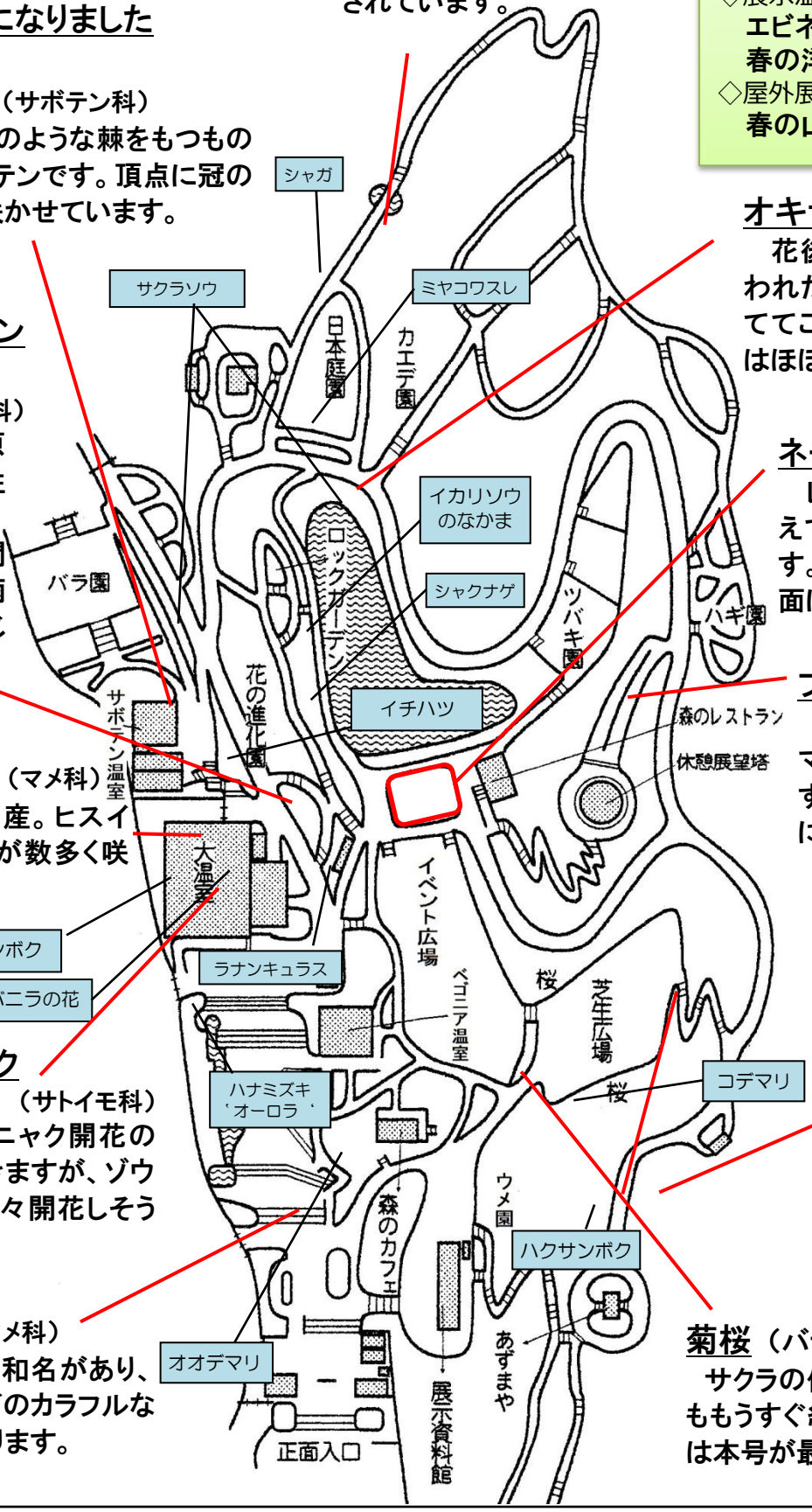
マミラリア（サボテン科）
堅い羽毛のような棘をもつものが多いサボテンです。頂点に冠のように花を咲かせています。

リビングストンデージー（ハマミズナ科）
南アフリカ原産の半耐寒性一年草です。花は日中に開花し、夜間や雨の時には閉じます。

ヒスイカズラ（マメ科）
フィリピン原産。ヒスイ色の長い花房が数多く咲いています。

ゾウコンニャク（サトイモ科）
今年はコンニャク開花のニュースが続きますが、ゾウコンニャクも近々開花しそうです。

ルピナス（マメ科）
ノボリフジの和名があり、青や桃、白などのカラフルな花が立ち上がります。



オキナグサ（キンポウゲ科）
花後にできる白い綿毛に覆われた果実を翁の白髪に見立ててこの名が付きました。(花はほぼ終わり)

ネモフィラ（ムラサキ科）
レストラン前の花壇に植えてあるネモフィラが満開です。鮮やかな青色の花が一面に広がっています。

フジ（マメ科）
ノダフジとも呼ばれ、ヤマフジとは別の種になります。約50mの藤棚が見頃になっています。

ミケリア（モクレン科）
オガタマノキの仲間が何種類か咲いています。夜によく香りますが、日中にもある程度香ります。(オガタマノキは未開花)

菊桜（バラ科）
サクラの仲間で一番遅咲きの菊桜ももうすぐ終わり。今年の桜の開花は本号が最後のご案内になります。

✿ 毎週土・日曜日・祝日 午後１時半～３時２０分は、ガイドボランティアが園内を案内します ✿
✿ 毎月第２火曜日・第４土曜日 午前１１時～は、職員による植物うんちく語りを実施します ✿